

第61回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成21年度〕



第61回高知市展オープニングセレモニー（平成21年5月30日／かるぽーと）

高知市文化祭執行委員会



# 目 次



高知市文化祭執行委員名簿	.....	2
高知市文化祭主催行事	.....	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	.....	5
参加行事報告		
映像部門参加行事	.....	6
演劇部門参加行事	.....	7
音楽部門参加行事	.....	9
舞踊部門参加行事	.....	14
展示部門参加行事	.....	16
文芸部門参加行事	.....	17
その他の参加行事	.....	18

## 第61回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
顧 問	廣 松 ひとし	人形劇団ピコロ座代表	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	山 本 秀 峰	高知県三曲協会事務局長
		仮 谷 哲 郎	高知県合唱連盟事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟副理事長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	高知県バレエ協会会長
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場副理事長
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	岡 部 徳 治	高知能楽会代表理事
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	河 村 章 代	高知県立美術館主任学芸員
文化協会	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
報 道	RKC	竹 島 章 記	高知放送報道制作部長
	NHK	池 崎 敏 弘	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	浜 田 茂	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	松 浦 英 明	高知新聞企業事業企画部長
	KUTV	岡 本 康 利	テレビ高知報道・技術センター次長
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局長

委員長 花柳 昌延

副委員長 高橋 輝雄 ・ 森田 悦男

監 査 上本 竹永 ・ 北村 絵理

第61回高知市文化祭開幕行事  
「土佐いまむかし」



- ◇日 時 平成21年4月12日(日) 開場12:00～ 開演12:30～
- ◇場 所 高知市文化プラザかるぼーと 大ホール
- ◇入場料 前売・当日とも 1,000円
- ◇主 催 高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会
- ◇主 管 (財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会
- ◇後 援 高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ
- ◇出 演 土佐山のみなさん・高知県民謡協会・劇団笛の会・美穂川流陽和会・劇団the創・劇団三十三番地・劇団屋根裏舞台・大和太刀踊り保存会・劇団ゆまにて・高知県吟剣詩舞道総連盟・高知県漢詩連盟・スガジャズダンススタジオ・藤間流かおる会・邦楽みすじの会・料亭濱長芸妓連中・高知コーラス合笑団・かがし座 他
- 総計 286人
- ◇入場者 771人

# 第61回 高知市展

- ◇開催日 平成21年5月30日(土)～6月14日(日)
- ◇会場 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリーほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円 (50円の割引ハガキを発行)
- ◇鑑賞者 6,945名
- ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」  
 6月7日(日)午後1時～4時  
 前広場+公民館施設 (6部門6ブース+2部門2ブース)  
 フリーパスポート 500円(349枚)・200円(135枚)



◇出品者・出品数・イベント

部 門	出品者 (前回)	出品数 (前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	94 (85)	113 (101)	4 (4)	「カラフルテント」	1400
日本画	34 (33)	45 (39)	3 (3)	「エコバッグにお絵かき」	460
書 道	142 (164)	142 (164)	10 (10)	「筆と遊ぼう」	800
先端美術	18 (17)	19 (18)			
彫 刻	26 (24)	31 (29)		「せっこう☆メダル」	600
陶 芸	79 (56)	114 (81)	3 (2)	「粘土で何かを作ってみよう」	216
工 芸	39 (36)	60 (61)	(1)	「和紙を染めてみよう」	620
写 真	80 (89)	127 (142)	10 (10)		
ペン字	110 (88)	110 (88)		「字は楽しく書くのが一番」	268
デザイン	47 (52)	51 (55)		「キーホルダー作り」	620
合 計	669 (644)	812 (778)	30 (30)		4984

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (6)	687 (955)	130,000 (130,000)	共 催 4 後 援 1 名義後援 1
演 劇	8 (9)	4,490 (5,563)	397,100 (386,300)	共 催 6 後 援 1 名義後援 1
音 楽	25 (23)	10,714 (9,570)	1,088,300 (1,120,000)	共 催 21 名義共催 1 後 援 2 名義後援 1
舞 踊	8 (12)	5,075 (6,454)	536,600 (666,600)	共 催 8
展 示	5 (4)	7,313 (8,255)	322,300 (321,000)	共 催 4 名義後援 1
文 芸	4 (3)	801 (669)	224,000 (195,000)	共 催 2 後 援 1 委 託 1
その他	4 (4)	805 (754)	179,800 (179,800)	共 催 2 後 援 2
合 計	60 (61)	29,885 (32,220)	2,878,100 (2,998,700)	共 催 47 名義共催 1 後 援 7 名義後援 4 委 託 1

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門

行事名	シネマな夜VOL. 110「エグザイル／絆」		
日・時	4月28日(火) 13:30～計4回		当会の参加者には女性、それもシルバー世代の女性層が多いため、ガンファイト中心のアクションである本作には女性の参加者が少なく、今更ながら高知における文化事業は女性層によって支えられていることを実感する結果となりました。作品は、ジョニー・トー節とでも言うべきスタイルと即興性で撮られ、その遊び心を楽しめるかどうかの評価の分かれ目となる作品でした。
会場	県立美術館ホール	入場者 103人	
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一		

行事名	こうちコミュニティシネマ第41回上映会「画家と庭師とカンパニー」		
日・時	5月8日(金) 13:30～計4回		この映画は、子供時代を共に過ごした二人の男が、自然豊かな故郷の田舎で再会し、現在の職業である画家と庭師として、お互いの生き方を学び、教え合うという物語です。自然との関わり、芸術と人との関わり、人生への想いが愛おしく描かれており、大変感動的な作品として受け入れられました。これからもこのような作品を、多くの人に提供していきたいと思えます。
会場	県立美術館ホール	入場者 220人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ／有光文平		

行事名	「真昼の暗黒」上映と裁判員制度の講演		
日・時	5月10日(日) 10:00～計2回 12:10～講演会		高知新聞で紹介され、多くの観客を見込んだが、1回目40名、2回目30名で、ゆっくり観れる程度の数でした。来られた方は、裁判・冤罪・裁判員制度に関心がある方がほとんどで、「八海事件」についての質問が多かった。弁護士山口剛史先生は、今この事件が起きて、半数以上の判事は、死刑判決をくだすでしょうとのこと。裁判員制度の必要性にも納得する。
会場	平和資料館草の家	入場者 76人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三		

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会第22期上映会「シシリムカのほとりでーアイヌ文化伝承の記録ー」		
日・時	5月17日(日) 13:00～17:00・18日(月) 9:00～13:30		アイヌ文化伝承の記録ということで、岡山・徳島からの参加がありました。木の皮で織物を織り、石器で丸木舟を作るなど、自然と共存し、つつましく強く生きるアイヌの人々の姿をみながら、混迷する世界情勢の時代をどのように生きていくかを見つめ直す手がかりを示唆する上映会でした。
会場	17日/自由民権記念館民権ホール 18日/平和資料館草の家	入場者 58人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会／松吉恵子		

行事名	MOVIE JUNKY 第201回上映会「悪夢探偵」「悪夢探偵2」		
日・時	5月19日(火) 「悪夢探偵」14:00～計2回 「悪夢探偵2」16:00～計2回		塚本晋也監督作品を上映し続けてきた当団体は、高知では未上映の「悪夢探偵」第一作と、その続編を併せて上映した。フィルム・レンタル料が高額という懸念があったが、心残りが晴らせたようで良かったと思う。配給会社の担当者も2作を一挙上映するのは高知だけとのこと。それにしても動員の少なさも手伝って大赤字となったのは、このジャンルの作品を上映する上で課題である。
会場	県立美術館ホール	入場者 90人	
主催	MOVIE JUNKY／西川泉		

行事名	「栄光への5000キロ」上映会		
日・時	6月21日(日) 10:30～計5回		今年は、石原裕次郎没23回忌。全国で様々な記念の催しをしている。高知県では、主演ポスター展と幻の映画「栄光への5000キロ」の上映会を行った。ただ、40年前のフィルムなので、色は完全にとんでおり、また、イタリア・アフリカでのカーレース映画だったのでやたらと外国語の字幕が多く、白い字幕の色もとんでいて、ほとんど読みとれなかった。観客には申し訳なかった。
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者 140人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三		

## 演劇部門(1)

行事名	喜多流回雪臺高知粟谷会能楽大会			
日・時	4月19日(日) 10:30~17:00		58年間、春には必ず能を上演したいとの願望からずっと続けています。特に今年は、人間国宝・亀井忠雄師(大鼓)にご出演いただき、直面の能(大曲)「鉢ノ木」に挑戦しました。他の会員と謡・仕舞・舞囃子と日頃の研賛の成果を一生懸命発表出来たと思っております。古典芸能・能楽(世界文化遺産)に接する機会の少ない高知で、無料で市民に鑑賞していただきました。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		200人
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会／岡部徳治			

行事名	劇団the・創公演「のぎく咲く・なずなの道」近藤益雄の詩と音楽の夕べ			
日・時	5月8日(金)・9日(土) 19:00~20:30		劇団として初めてマンドリン演奏を取り入れた朗読劇。この取り組みは7月に上演する長崎公演のプレ公演だった。予想以上の入場者に、当日はイスを補充したり設営も色々工夫した。詩と音楽との組み合わせが、会場にマッチして効果的だった。長崎でも券が売れチトセピアホールは満席だった。障害児教育に生涯をかけた近藤益雄の魅力が全国に発信できた事はこの上ない喜びである。	
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者		430人
主催	劇団the・創／西森良子			

行事名	演劇集団S.T.H.公演「浦島さんとカチカチ山」			
日・時	5月23日(土)・24日(日)・29日(金)~31日(日) 19:30~21:30		今回初の試みとして、お子さんを持つ年代のお客様にも家族一緒に観劇して頂けるよう、「ファミリーデー」と題する上演日を設定した。予想より多くの来場があり好評だった。また上演台本の原作も含め、太宰治の文庫本販売を行った。違った目線で文学に触れる機会を提供できたのではないかと思う。今後も様々な方法で舞台芸術に触れる機会を提供し続けようと思う。	
会場	蛸蔵	入場者		300人
主催	演劇集団S.T.H.／岡村実記			

行事名	高知市民劇場第278回例会ピュアマリー公演「ステッピング・アウト」			
日・時	5月28日(木)18:45~ 29日(金)・30日(土)13:30~		前田美波里・榛名由梨出演のミュージカルということで、会員の期待が高い例会で参加率も良かったです。内容は、出演者がタップダンス教室を通して悩みを打ち明け、支え合いながら解決に向かって「ステッピング・アウト(明日に向かって一歩踏み出す)」していく物語でした。残念だったのは、今回も会員を増やすことができなかったことです。	
会場	オレンジホール	入場者		2,951人
主催	高知市民劇場／塩田正興			

行事名	高知市こども劇場高学年例会チカパン公演「リトルピース」			
日・時	5月30日(土) 19:00~20:10		言葉や唄、そして物を使って演じるチカパン独自のマイムスタイル。いくつかのピース(小作品)の中には笑えるもの、奇天烈なもの、時に切なく、また愛らしいもの、バランス良く構成されていました。言葉にできない思いを身体と表情で伝える。受けとる側も想像力という自分自身のフィルターを通してそのメッセージを受けとる。身体表現によるコミュニケーションといえる空間でした。	
会場	かるぼーと小ホール	入場者		140人
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美			

行事名	第21回高知能楽会大会			
日・時	6月7日(日) 9:00~17:00		観世流3会派・喜多流2会派の会員、日頃は別々に稽古し発表を続けてはいるが、この会では他の会派の芸に接することで刺激を受けるし、友好関係もできてくると思う。各会員は日頃の稽古の積み重ねを充分発表する事ができたと思う。なお、この能楽を少しでも広めていきたい、一層の努力を続けていきたい。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		200人
主催	高知能楽会／岡部徳治			



## 演劇部門(2)

行事名	ラボ・パーティ高知地区交流発表会		
日・時	6月21日(日) 13:00~16:30		第1部は、親子で参加するという目標が果たせた。第2部は、高学年と成人による英語・日本語テーマ活動発表が4つあり、表現豊かな発表にちびっ子たちもグッと引き込まれていた。合間には、中高大生の実行委員が手遊びやゲームを楽しく紹介してくれ、まとまりのある会となった。反省としては、初めての会場で、発表する場と、見る場との区別ができず、事前の調査が必要だと感じた。
会場	五台山ふれあいセンター	入場者 60人	
主催	高知ラボ・パーティ／岩本真理		

行事名	劇団ゆまにて第77回公演「人質」		
日・時	6月25日(木) 19:00~21:00		主役の心情の変化や、人に対する思いを、前回より前面に出そうと思いました。セリフ一つ一つにどんな考えや思いが入って、言葉になるかという点を考えてみました。少し押さえ気味になったかもしれませんが、大きな声でどなるようにするよりもグッとくる感じがあったように思います。また、観客の方々にも好評で、今までで一番良かったのではという評も頂きました。
会場	県立美術館ホール	入場者 209人	
主催	劇団ゆまにて／吉本智賀子		

## 音楽部門(1)

行事名	高知ポップス・オーケストラコンサート2009 10th Anniversary		
日・時	4月11日(土) 18:30~20:40		今回の自主公演は設立10周年ということで、内容を更にグレードアップしてのぞみました。おかげさまで多くの方々にご来場いただき好評のうちに終えることができました。初めてご来場いただいた方も多く、曲構成、演奏内容ともに高評価を頂き、今後への期待の声が多く寄せられました。全編オリジナル編曲というスタイルで今後も更に研鑽を積み飛躍をはかっていきたいと存じております。
会場	オレンジホール	入場者 912人	
主催	高知ポップス・オーケストラ／池上初枝		

行事名	明德義塾中・高等学校第7回国際親善チャリティージョイントコンサート		
日・時	4月16日(木) 18:00~20:20		カナダ・ダコタ高校と、上海の中国伝統楽器の仲間、タイ舞踊のグループ、本校マーチング部、和太鼓部とのジョイントに、地元高岡・土佐南中学校の吹奏楽部も友情出演して下さり、盛況の内に終わりました。ただ、入場者数が前回より少なかったのが残念です。「音楽に国境なし」を合言葉に、今回はさらに幅広く姉妹校に声を掛け、より良いコンサートができるよう頑張ります。
会場	オレンジホール	入場者 710人	
主催	明德義塾中・高等学校／上田恵介		

行事名	第32回おしどり会民謡発表会		
日・時	4月19日(日) 12:30~16:00		今回はかなり曲数が多く、従来なら暗転でつなぐのを明転にし、できる限り幕も閉めず、早めの進行で予定より50分も早く千秋楽を迎えました。今回の目玉の一つ器楽合奏では、南の国からを一般会員さん北の国からを名取以上、また、例年通り「竹韻の調べ」で竹藪を作った所、客席から最高と言うお誉めを頂きました。これからも、日本民謡の発展と継承を続けてまいります。
会場	グリーンホール	入場者 470人	
主催	高知民謡おしどり会／高橋輝雄		

行事名	一絃琴わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月19日(日) 13:30~15:30		香南市出身で「南海の宮沢賢治」と言われた詩人岡本弥太の詩を10曲と龍馬詠草21首の中から5首を入れた龍馬挽歌の新曲11曲を演奏しました。これらは郷土の偉人が作詞したもので、これからも大切に歌い続けてゆきます。他に、一絃琴の名曲「泊仙操」や箏曲の「春の曲」等、内容の充実した会でした。本来の一絃琴に加え低音琴・弓弾・横笛を奏し皆様に喜んで頂きました。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 49人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

行事名	土佐中・高等学校吹奏楽部第44回スプリングコンサート		
日・時	4月29日(水) 14:00~16:00		例年に比べ、少し来場者が少なかったのので来年に向けて改善したい。内容は例年通り様々なジャンルの演奏・演出で楽しんでいただけたと思う。来年以降もしっかりと演奏会を開催していきたい。
会場	オレンジホール	入場者 864人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

行事名	高知県ピアノ指導者協会28年度例会コンサート 「チェロとピアノによるファンタスティックコンサート」		
日・時	5月8日(金) 18:00~21:00		チェロに竹本利郎氏、ピアノに川染雅嗣氏をお招きしてチェロとピアノによるコンサートを開催。来場者は400人を超えましたが、満席とはいかず観客動員手段を検討しなくてはなりません。演奏内容はアンサンブルという事でピアノの魅力だけでなく、弦楽器のチェロも親しむことができ大変好評でした。来年度は今回発生した課題を解決し、より楽しんでいただけるよう努力していきたい。
会場	グリーンホール	入場者 420人	
主催	高知県ピアノ指導者協会／住友弘一		

## 音楽部門(2)

行事名	<b>第10回郷土民謡土佐ふみの会発表会</b>		
日・時	5月9日(土) 12:30~16:00		
会場	グリーンホール	入場者	385人
主催	郷土民謡土佐ふみの会／黒川二三子		

創立10周年記念演奏会で、ゲストに尺八演奏家の村田萌山氏と、山中萌風氏をお迎えし素晴らしい竹の音色を聞くことができました。10周年ということで門下生もがんばり、踊りでは三里・重倉・鴨部各教室の門下生と友情出演に貴柳会、また生徒さんのお孫さんにも出演していただき大成功で終わりました。

行事名	<b>高知県吟剣詩舞道総連盟春季競吟大会</b>		
日・時	5月10日(日) 9:30~16:30		
会場	春野文化ホールピアステージ	入場者	370人
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／柳瀬岳領		

本年度は会場を変更し大会を試みてみました。設備や駐車場も完備し素晴らしいホールではあったが、周辺に食堂や交通機関がなく大変でした。毎年のことではあるが、連盟会員約1800名が1年間頑張ってきた成果を競い合い、各ランク毎に優勝旗、個人には優勝カップが贈られ熱気のうちに終了しました。しかし交通の便の悪さは、観客動員に結びつきませんでした。

行事名	<b>四国吹奏楽フェスティバル in 高知</b>		
日・時	5月10日(日) 13:00~16:00		
会場	オレンジホール	入場者	780人
主催	高知県吹奏楽連盟／小嶋理世		

出演者312名、関係スタッフ37名、聴衆780名という結果で順調に終了。四国四県から各1団体、高知県からは他に高校選抜楽団、及び一般市民で結成されたアニバーサリーバンド等、特色ある演奏をお楽しみいただきました。RKCTVでの特別番組や告知広告を企画したことが成功の大きな要因と思われます。四国全体の吹奏楽の普及に大きな役割を果たしたものと思われます。

行事名	<b>正曲一絃琴白鷺会演奏会</b>		
日・時	5月16日(土) 13:00~15:00		
会場	かるぽーと小ホール	入場者	120人
主催	正曲一絃琴白鷺会／松尾徹人		

今回初めて来ていただいた方が多く、無形文化財保持団体としてより多くの方々に一絃琴に親しんでいただくことが使命だけに、大きな成果であった。高度な技術を要する曲目、十三絃とのコラボレーションも好評で多くのお客様から称賛をいただいた。今後も技術の向上、会員の拡大と共に演奏機会を増やし、多くの方に知っていただくよう努めていきたい。

行事名	<b>秀鳳流春季吟詠練成大会</b>		
日・時	5月17日(日) 9:00~17:00		
会場	高知プリンスホテル	入場者	340人
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳		

生憎の雨模様でしたが、たくさんの方々の会員および一般市民の方々の、会場は熱気でむせかえるほどの賑わいでした。吟詠はわが国固有の伝統芸術というだけではなく、日本人の精神文化の高揚に果たす役割も極めて大きいものがあります。本大会が会員だけでなく、少しでも一般市民にご理解いただければ幸いです。来年は60回大会ですので、さらに頑張っていきたいと思っております。

行事名	<b>春野町高知市合併記念「三曲演奏会」</b>		
日・時	5月17日(日) 13:30~15:40		
会場	春野文化ホールピアステージ	入場者	491人
主催	高知県三曲協会／澤田萬山		

今年は春野町の高知市合併を記念して、地域の人達と一緒に祝い合えるよう、長年春野で音楽活動を続けている「あじさい合唱団」の方々に特別出演して頂き、それに併せて友情出演という形でソプラニスタ岡本知高さんの出演が急遽実現、予想をはるかに超える大盛況でした。多くの人に三曲演奏への理解を深めていただけたと感じています。

## 音楽部門(3)

行事名	<b>青峰流至誠吟詠会春季大会</b>		
日・時	5月17日(日) 13:30~16:30		高知市の文化祭に2回目の参加です。当日は生憎の雨にもかかわらず、会員だけでなく、地域の方々もお見えになり、会のスローガンである「無聲呼人・至誠一貫」の精神で本年の春季大会を終了しました。また秋季大会まで半年頑張っていきたいと思います。
会場	南部健康福祉センター	入場者 120人	
主催	青峰流至誠吟詠会／佐藤青絹		

行事名	<b>高知市こども劇場低学年例会ロバの音楽座公演「らくがきビビのコンサート」</b>		
日・時	5月21日(木) 18:30~19:50		中世ルネサンス時代の古楽器、世界の民族楽器、そして空想楽器と名付けられた不思議な手作り楽器。5人の楽士たちが次から次へと奏でていきます。素朴で温かく心地良い音色。なぜか懐かしさを感じた人も多かったようです。音が目に見えてくるような楽しみを味わうことができました。舞台上の、みるからに不思議なおブジェも実は楽器になっているという意外なおもしろさもありました。
会場	かるぼーと大ホール	入場者 422人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美		

行事名	<b>第22回桂民謡会チャリティー民謡民舞の祭典</b>		
日・時	5月31日(日) 11:30~16:00		今回の出演者は、合唱を加えると80名を越し、そのため演奏時間も非常に長い会となり、如何にしてお客さんを退屈させないで演奏会をするかに心をくだきました。マイクの前で歌詞を忘れる高齢者もいれば、最初から最後までトイレも行かずに聞き入って下さるお客さん、本当に感謝の気持ちで一杯の大会でした。本年も「生命の基金」に11万円余りを贈ることができました。
会場	グリーンホール	入場者 387人	
主催	高知桂民謡会／竹内懸一		

行事名	<b>邦楽器と洋楽器によるアンサンブルグループ「し〜ずん」コンサート</b>		
日・時	6月5日(金) 19:00~21:00		フルートの山下兼司氏が体調不良の為、急遽、尺八演奏家の渡辺淳氏にゲスト出演を願うこととなり、プログラムも大幅に変更となった。尺八と二十絃箏の渡辺治子、尺八と三味線の門田綾子、フルートの服部牧人に、ピアノの吉井美賀らが出演。アンコール曲の伴奏に尺八もアドリブで入り、満席の会場が歌声で盛り上がった。満足してくださったお客様の笑顔を見送った。
会場	県立美術館ホール	入場者 389人	
主催	グループ「し〜ずん」／門田綾子		

行事名	<b>やいろ吹奏楽団第14回定期演奏会</b>		
日・時	6月6日(土) 18:00~21:00		3部構成の第1部は吹奏楽コンクール課題曲等、2部は映画音楽を、3部はTV番組のテーマ曲や洋楽を吹奏楽にアレンジした曲等を演奏し例年以上にお楽しみいただきました。吹奏楽に携わってない人でも親しみのある選曲だったので、分かり易くて楽しめたという声を多数いただきました。今後も趣向を凝らして沢山の方に親しんでいただける様、良い音楽作りを目指していきます。
会場	オレンジホール	入場者 760人	
主催	やいろ吹奏楽団／野町考司		

行事名	<b>「Tutti」第11回&amp;「音のみち」第8回ジョイントコンサート</b>		
日・時	6月6日(土) 19:00~21:00		ソロから室内楽、古典から現代、新作初演等、内容の充実したコンサートができたと思う。今後もコンサートを通して、より多くの方々に私たちの音楽を聴いていただけるように活動を続けていきたい。
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者 80人	
主催	Tutti, 音のみち／川添建太郎		

## 音楽部門(4)

行事名	大正琴アンサンブルあじさい会発表会		
日・時	6月7日(日) 13:30~16:00		
会場	グリーンホール	入場者	368人
主催	大正琴あじさい会／川島節子		

16回目となります本年も室戸・赤岡・高知の各生徒さんたちの1年間の練習の成果を発表することができました。毎回行っています「生命の基金」にも大勢のお客様の御寄付を頂きました。高齢者が多い中で、この演奏会が唯一の楽しみですと云ってくださるお客さんも大勢おり、最後には、紫陽花の花をプレゼントして会場のお客様と大合唱で締めくくりました。

行事名	混声合唱団Pange第6回定期演奏会		
日・時	6月13日(土) 18:30~20:30		
会場	県立美術館ホール	入場者	348人
主催	混声合唱団Pange／坂本雅代		

人事異動や就職で団員の入れ替わりが激しく、満足いく練習がギリギリまでできない、とても苦しい演奏会でした。が、個々の団員ができる限りの努力をして、演奏自体は満足のゆくものとなりました。お客様も毎年楽しみにしてくださっている方が増えてきたようで、来年にむけての励ましの言葉もいただき、団員の力になります。

行事名	第36回高知本條会ふるさと民謡民舞三味線発表会		
日・時	6月14日(日) 12:00~16:00		
会場	高知プリンスホテル	入場者	130人
主催	高知本條民謡連合会／本條謡朋		

当会の歴史は古いが会員数は少なく、今回は町の「虹の会」と鳴り物「びこう会」の応援を求め盛大に行うことができました。会場が日本間という事で日本情緒たっぷりに仕上げ、生の音を重視するためマイク音量を最小限に抑えた結果、絶賛をいただきました。椅子席が足らず、畳の上に座布団敷きの客席を構えたことが非常に好評でした。来年に向かって新たな一歩を始めます。

行事名	第50回高知県合唱祭		
日・時	6月21日(日) 10:00~16:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	644人
主催	高知県合唱連盟／谷村泰久		

50回全てに出演している団体から、今年連盟に加入した団体まで、それぞれの団体の特色が良く出た演奏会でした。来年の四国支部50年に向けての最初のイベントでしたが、一致団結の良いきっかけとなりました。

行事名	土佐一絃琴演奏会		
日・時	6月21日(日) 13:30~15:50		
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	60人
主催	土佐一絃琴同好会／高木美智		

一絃琴をより広く知ってもらうため古曲と共に会場のことを考慮し、土佐や龍馬に関する曲目を取り上げた。会場には県外からの観光客や学生もおり、興味を持って聴いて頂くことができた。会場を椅子席であるホールに移したことで行動し易くなったためか、休憩や会の終了後には、楽器を観たり説明を聞いたりする場面が多く見られた。また来年に向け一層努力していきたい。

行事名	高知交響楽団第142回定期演奏会		
日・時	6月21日(日) 14:00~16:00		
会場	オレンジホール	入場者	615人
主催	高知交響楽団／山下佳邦		

ヨーロッパで研鑽を積んだ指揮者高橋敏仁氏との2度目の共演で、氏が得意とするドヴォルザークの交響曲第7番を中心に据えたプログラムを臨んだ。練習時間が少なく、指揮者の表現したい音楽を十分に反映できたか不安であったが、聴衆からはこれまでの高響とはサウンドが変わったとの声を聞くことができた。一方、入場者数は昨年よりもやや少なく宣伝面で課題を残した。

## 音楽部門(5)

行事名	第40回高知マンドリン土曜日会定期演奏会		
日・時	6月27日(土) 18:00~21:00		今回は40回という節目の年にあたり、これまで演奏してきた曲の中から皆さんにもう一度聞いてもらいたい曲や弾きたい曲など、お客様に喜んでいただける演奏ができたと思います。また今回は、いの町合唱団の賛助をいただき合唱とのコラボレーションができ、他の分野の方々と交流もできました。これからも50回を目指して会員一同頑張っていきたいと思います。
会場	オレンジホール	入場者 480人	
主催	高知マンドリン土曜日会／和田健		

## 舞踊部門(1)

行事名	<b>第28回坂東流はなぶさ会舞踊発表会</b>		
日・時	4月29日(水) 12:30～16:00		今年ほど盛り上がった発表会は久しぶりです。例年、出演できなくなる会員さんが目立ちますが、今年は高齢者が多いにも関わらず、頑張ってお客さんに来て頂きました。プログラムの他に招待券を会員さんに配っていただいたおかげだと思っています。残念なのは、某報道関係の取材が来た時には千秋楽で緞帳がしまっていたことでした。来年も頑張ってお発表会を開催いたします。
会場	グリーンホール	入場者 403人	
主催	坂東流英会／坂東英		

行事名	<b>第37回内山時江ダンスシアター ア・ナ・タ パート4「追憶」</b>		
日・時	5月16日(土)18:00～19:15 17日(日)15:00～16:15		去年秋に股関節の手術をして臨んだ今回の公演でした。痛みを抑えての動きに観客の反応が気になっていましたが、「動きに無駄が無く、思いがダイレクトに伝わってきた」という感想を頂き、胸を撫で下した次第です。
会場	内山時江モダンバレエ研究所	入場者 93人	
主催	内山時江モダンバレエ研究所／内山時江		

行事名	<b>第54回白鷺おどり</b>		
日・時	5月17日(日) 11:00～15:30		天候が優れず、また新型インフルエンザの影響もあり例年に比べ客足は悪く、7・8割の入りであったが、舞台の方はこの公演にかけの意気込みが感じられ、どの演目も見応えのある出来栄であった。伝統文化子供教室の20人も楽しく出演。将来の日舞の発展につながる事を期待したい。また、若手舞踊家の伸びが著しく、本年の市長賞・白鷺会賞を若い人達が受賞したことも喜ばしい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 800人	
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延		

行事名	<b>第5回かなるスタジオカーニバル</b>		
日・時	5月17日(日) 14:00～15:45		今年も観客の方々から「いろんな種目があって楽しい、時間があっという間に過ぎてしまった」と喜んでもらった。「もっと見たい」という声も多く聞かれ、実技が伸びているとの評価も多数ありました。出演した子供達も笑顔いっぱい舞台でした。保護者の方々からも参加させて良かったとお礼の言葉も頂きました。これからは充実した舞台になるよう頑張っていきたいと思っています。
会場	県立美術館ホール	入場者 351人	
主催	かなるスタジオ／瀬川佳津江		

行事名	<b>第54回立脇バレエ発表会</b>		
日・時	6月13日(土)18:00～21:00 14日(日)13:00～16:00		2日間満員の観客動員ができ、年々クラシックバレエへの関心も高くなったような充実した会でした。出演者の水準も高くなり、皆様方よりお褒めの言葉も頂きました。反省する点は、毎年のことながら多くありますが、これからもこの素晴らしく格調高いクラシックバレエを広めていきたいと思えます。来年も頑張ります。
会場	オレンジホール	入場者 2,200人	
主催	立脇千賀子バレエ研究所／立脇千賀子		

行事名	<b>モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「朝まだき」</b>		
日・時	6月27日(土) 18:00～20:00		新しい事を求めず、しかし前進し、立体的な作品は面白く、時間は静かに流れ、他の芸術活動をされている方に受け入れられた事に、喜びを感じる。
会場	県立美術館ホール	入場者 300人	
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子		

## 舞踊部門(2)

行事名	浜田悦子バレエ研究所第37回発表会		
日・時	6月28日(日) 13:00~15:40		当初は踊りも沢山あって難しく、練習時間も充分とれない日が続いておりましたが、少しずつ前進してきました。課題は残ったものの、それぞれがベストを尽くし良い経験をさせて頂きました。お客様からも、「オーソドックスなクラシックの作品をベースに、子供たちの創作バレエや大人のコンテンポラリー作品まで楽しく、引き込まれて一気に見てしまった」と、有り難いご意見を頂きました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 800人	
主催	浜田悦子バレエ研究所／浜田悦子		

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月28日(日) 13:00~16:00		今回は創立30周年の意義を込めて「あなたが主演」のテーマをかかげて開催し、参加者も小学生から80才以上の方々まで年齢を感じさせない若々しい発表会でした。我々役員も、30周年の歴史を感じながら楽しく文化祭に参加できた喜びを踊りに実現させることができ、近年にない盛り上がりを感じました。来年も皆さんにもっと喜んで頂ける内容にしたいと決意しています。
会場	旭文化センター	入場者 128人	
主催	高知社交ダンス愛好会／尾崎比佐子		



## 展示部門

行事名	<b>第23回双雲社書展</b>			
日・時	4月10日(金)～13日(月) 9:30～18:00(最終日は16時)		今回は会員65名が出品し、ペン字作品53点・毛筆作品28点の計81点を展示。ペン字の縦45cm×横240cmの大作5点は、ペン字にもこんなに大きな作品があることを知って頂け有意義だったと思います。また、割り箸等の筆具外作品に興味を示された方々が多く、硬筆の幅の広さが理解されて良かったと思います。これを機に、今後もレベルアップのために尽力したいと思います。	
会場	高新画廊	入場者		488人
主催	書道研究双雲社／岡崎六泉			

行事名	<b>春のいけばな展</b>			
日・時	4月24日(金)～26日(日) 10:00～18:00(最終日は16時)		加盟22流派の会員協力で、大作18・普通作170・子供作19を展示。出品者それぞれの趣が来館者の目を楽しませ、寛ぎの一刻を満喫して頂けたものと思う。問題点は、会員の高齢化で出品者が減少傾向にある事と、大作の豪華さが薄らいだ事。また、前回より入場者が500名弱減少した。伝統芸術の重さを自覚しつつも、耐えなければいけない時代かもしれない。	
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者		3,165人
主催	高知県華道協和会／岩井寿夫			

行事名	<b>春のばら展2009</b>			
日・時	5月1日(金)～3日(日) 10:00～18:00(最終日は16時)		展示花数が568本と昨年(464本)を上回り、花の出来映えも例年より評価が高かった。また会場が広くなり、資材や写真展示、ばらの演出コーナーが充実し内容が深まった。レイアウトの評判も良かった。今後一層、レイアウトや演出に工夫を凝らしていきたい。開催が例年より1週間早まり、連休に重なったことで、ばらの開花時期の調節や集客に苦労した。	
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者		840人
主催	高知ばら会／森岡清			

行事名	<b>第33回さつき花季展覧会</b>			
日・時	5月21日(木)～24日(日) 9:00～17:00(最終日は16時)		昨今の異常気象で花の開花が心配されましたが、盛況の内に展覧会を終えることができました。今回は、会員が1年間丹精込め手入れした63鉢の出品があり、5名の先生による審査の結果、県知事賞・市長賞他、各賞が決定しました。審査員の先生方も年々の樹格向上に感心しておられました。会期中は大勢のギャラリーの方々に鑑賞していただき賑わいのある展覧会になりました。	
会場	県立牧野植物園	入場者		2,700人
主催	高知県さつき愛好会／斎藤俊和			

行事名	<b>ボトルフラワー作品展</b>			
日・時	6月30日(火)～7月5日(日) 9:30～17:30(最終日は15時)		当初、体験会を予定していましたが、会場の都合でできなくなり、お客様に御迷惑をおかけしました。後日、改めて日程と場所を決め、行うことができました。NHKのアナウンサーに、花のつけこみから、ボトルの体験を行ってもらい、放送してもらったところ、たくさんの方々に興味を持ってもらい、「初めて見せてもらった」と、たくさんの感想をいただき有り難く思っています。	
会場	NHKハートプラザギャラリー	入場者		120人
主催	ボトルアレンジメントフラワーAssociation／竹内志津子			

## 文芸部門

行事名	<b>第39回総合文芸展</b>		
日・時	5月12日(火)～17日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30)		
会場	かるぽーと第5展示室	入場者	458人
主催	高知ペンクラブ／高橋正		

会員の作品を中心に短歌・俳句・詩・川柳45点が展示。また今回は、戦時中、米潜水艦の魚雷により3700人もの犠牲者を出した富山丸の悲劇を再現した切り絵とイラストも展示され注目された。陳列ケースには、会員の著書・同人誌・「高知文芸年鑑」と「会報」の他、棕庵文学賞・県出版文化賞・寺田寅彦記念賞・高知出版学術賞の各受賞図書も展示。鑑賞者も450人を超え成功であった。

行事名	<b>第38回高知県俳句大会</b>		
日・時	5月31日(日) 9:00～16:30		
会場	高新文化ホール	入場者	115人
主催	高知県俳句連盟／橋田憲明		

毎年実施している高知県俳句大会は会員の減少に伴い115名の参加であったが、日頃の研鑽を示しあい親睦を深めた。午前は募集句のうち、優秀作品の表彰と講評を行い、午後は参加者全員の互選句会と選評等、顕彰を行った。会員の高齢化等の事情により、年々会員及び応募句も少なくなっており、運営が厳しくなっている。会員の増加と俳句文化の向上に努めたい。

行事名	<b>第8回高知県漢詩大会</b>		
日・時	6月14日(日) 13:30～16:00		
会場	高知プリンスホテル	入場者	120人
主催	高知県漢詩連盟／野中秀鳳		

課題詩を「名所旧跡」「自由題」とし会員が作った詩を紹介、「大土佐漢詩風土記」では古典的な漢詩ではなく身近な風光や、土佐の名所・古跡を詠む等、土佐ならではの漢詩を味わいました。また、構成剣詩舞「土佐を詠む」では水心流弘道館に舞を披露していただく等、土佐の自然と風土にこだわってみました。この中から、四国大会・全国大会に出場する方を推薦したいと思っています。

行事名	<b>平成21年度帆傘川柳大会(復刊帆傘60周年記念)</b>		
日・時	6月28日(日) 10:00～17:30		
会場	文教会館5階ホール	入場者	108人
主催	帆傘川柳社／小笠原望		

帆傘川柳社が復刊帆傘を発行しはじめて60周年にあたる年であり、県内はもとより四国四県から例年を上回る参加があり盛況であった。県外の選者と県内の選者とのバランスを考え、他柳社の選者も指名して幅広い選となった。出席者には、別に作成した「帆傘60周年合同句集」を配布した。トラブルもなく、なごやかな会であった。

## その他部門

行事名	<b>香を楽しむ</b>		
日・時	4月26日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00		前日の雨が心配されましたが、この会を待っていて下さる方もあり、清新な空気の中で、残花香を楽しんでいただきました。今後も微力ながら、伝統文化を伝えていくために会員一同努力していきたいと思ひます。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 60人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

行事名	<b>第35回高知市教育長杯かるた大会</b>		
日・時	6月28日(日) 10:00~15:00		昭和50年に始まり今年で35回を迎える伝統ある大会、本年も20名の参加で開催しました。しかし、高知県では中学高校に競技かるた部が存在しない上に、指導者もいません。高知かるた会としては、競技人口がなくならないように、大会の開催や練習会を通して、競技かるたの普及と競技者の育成に努めていきたいと考えています。
会場	南部健康福祉センター	入場者 30人	
主催	高知かるた会／吉本健二		

行事名	<b>第13回三里友の会文化祭</b>		
日・時	5月24日~6月28日 全4行事		文化祭は、恒例となり盛会のうちに終えることができました。しかし、高齢化により年々友の会からの脱会が増え、会費収入減少により財政も厳しくなり、今回の文化祭に出場できなかった会も出てきました。来年の開催も危ぶまれます。
会場	三里文化会館	入場者 715人	
主催	三里文化推進友の会／坂本美代子		

行事名	<b>参加興行映画</b>		
日・時	5月9日~6月30日 全4作品		文化祭に相応しい作品として、日本映画の、「余命1ヶ月の花嫁」(5/9~)、「劔岳点の記」(6/20~)、外国映画からは、「天使と悪魔」(5/15~)、「愛を読むひと」(6/19~)の計4本を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 33,400人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合／友永雄一		